

【課題】

農地が排水不良となっても、その原因が地表滞水、地下水の湧出などどれに該当するかを把握することが難しく、原因に応じた排水対策を選択することができない場合、生育不良となり収穫量が低下してしまいます。

【発明の概略】

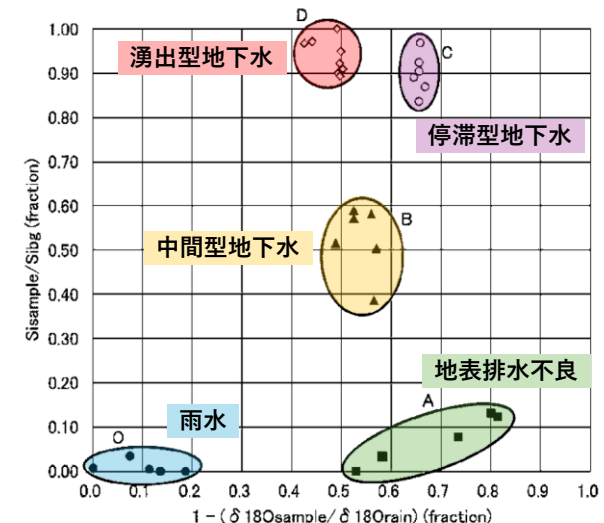
本技術は、排水不良箇所の水を少量採取し、溶存ケイ酸濃度と水の構成元素の安定同位体比を分析することで、排水不良の原因を簡便に診断する技術です。

【発明の効果】

高度な土壌調査や長期観測を必要とせず、原因に応じた最適な排水対策の選択を支援できるため、対策コストの削減や排水改善効果の向上、農地の生産性向上に貢献します。



排水不良だけど原因がわからない農地



分析結果から診断される排水不良の原因